

支所001	項目名	国府町総合支所管理費	
主要な施策	庁舎管理費	ページ	23
年度	H24	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555		
款 総務費	【9次総の施策体系】0201		
項 総務管理費	【予算計上の経過】		
目 財産管理費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	9月補正予算・P59(支所001)、12月補正予算・P37(支所001)		
当初予算額	8,745	【事業の概要】	
補正予算額	1,639	市民サービス拠点施設としての国府町総合支所庁舎管理運営	
予算流・充用額	△256	【事業の成果】	
最終予算額	10,128	①新庁舎開所(平成25年1月4日～)	
本年度決算額	7,451	②鳥取東健康福祉センターの併設(平成25年4月1日～)により、市民サービス拠点施設としての機能を拡充。	
区分	決算額	③国府地域交流会館の設置(市民活動の拠点、交流スペースの確保)	
財源内訳		≪事業実績≫	
国・県支出金	0	・H22年度 7,154千円	
地方債	0	・H23年度 6,391千円	
その他	294	・H24年度 7,451千円	
一般財源	7,157	【今後の課題・方向性】	
計	7,451	より広域的な市民サービス拠点として更なる利便性向上に努める。	
		①庁舎内スペースの更なる有効活用方法の検討。	
		②庁舎内に併設の鳥取東健康福祉センターとの管理運営方法等に係る検討。	
(参考)		評価結果	
前年度決算額	6,391	新庁舎への移転も完了し、住民にも庁舎移転が十分浸透したところである。 新庁舎の2階部分の利活用について今後検討が必要。	

支所002	項目名	マストリフェスタ補助金	
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 産業建設課 0857-39-0560		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】		
目 観光費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P306(支所001)		
当初予算額	1,944	【事業の概要】	
補正予算額	0	◆地域振興特定予算	
予算流・充用額	0	「マストリフェスタ」は、平成4年度から殿ダム建設に伴う将来の湖水並びに周辺の河川を利用したイベントとして周辺住民の協力を得て始まった。以来、町内外から多数の参加者を迎え、今や国府地域を代表する観光イベントとして定着している。	
最終予算額	1,944	本事業は、国府町地域の豊かな自然の利用を積極的に行うとともに、殿ダムの湖水を利用した地域が一体となるイベントを通して地域振興に資することを目的とし、鳥取市の一大イベントのひとつとして継続実施する。	
本年度決算額	1,944	【事業の成果】	
区分	決算額	≪実施概要≫	
財源内訳		主 催：鳥取市国府町マストリフェスタ実行委員会	
国・県支出金	0	時 期：平成24年5月27日(日)	
地方債	0	場 所：袋川(鳥取市国府町楠城地内)	
その他	0	参加料：[前売券]大人：1,000円、子ども：500円	
一般財源	1,944	[当日券]大人：1,200円、子ども：600円	
計	1,944	つかみどり無料(子ども対象)	
		その他：地域各種団体による特産品の販売等	
		≪事業実績≫	
		・H22年度 1,944千円(参加者約1,000人)	
		・H23年度 1,944千円(参加者約350人：台風の影響)	
		・H24年度 1,944千円(参加者約600人)	
(参考)		【今後の課題・方向性】	
前年度決算額	1,944	殿ダムの完成に併せ、地域の活性化策としてより一層の内容充実を図る。	
		≪市民ニーズの状況≫ 事業アンケートでは大変好評で、継続を望む意見が多数。	
		評価結果	
		殿ダムの完成に併せ、地域の活性化策としてより一層の充実を図る。	

支所003	項目名	地域伝統芸能保存事業																				
主要な施策	文化振興費	ページ	43	所 属 名																		
年度	H24	国府町総合支所 地域振興課																				
会計名	事業の概要																					
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555 【9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P306（支所002） 【事業の概要】 「因幡の傘踊り」は徳川末期の雨乞い祈願に始まるが、その後明治時代に国府町高岡で冠傘を長柄の傘に変えたものが県東部地域を中心に普及。昭和49年には鳥取県無形民俗文化財に指定され、今や県を代表する伝統芸能として位置づけられている。 「因幡の傘踊りの祭典」は、この民俗芸能を継承する各地の団体が因幡の傘踊り発祥の地「国府」に一堂に集い、お互いの技術向上・交流及び「因幡の傘踊り」普及・発展に寄与することを目的として平成10年から実施されている。 【事業の成果】 因幡の傘踊りの発祥の地「国府」で、県内外の保存会が踊りの披露及び交流を行い、団体相互の技術向上、傘踊りの普及発展と伝承を図ることができた。 また、鳥取市内の小・中学生、傘踊り愛好家のグループ等に出演を呼びかけ、傘踊りの指導や踊りの披露を通じて地域住民との交流と鳥取市のPRを行うことができた。 《事業実績》 ・H22年度 820千円（参加者約1,300人） ・H23年度 820千円（参加者約2,000人） ・H24年度 820千円（参加者約2,200人） 【今後の課題・方向性】 国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。 事業アンケートでは大変好評で継続を望む意見が多数あり、今後も継続していく。																					
款	教育費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	0																					
手数料	0																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	0																					
贈収入	0																					
その他	0																					
項	社会教育費																					
目	文化振興費																					
(単位:千円)		<table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>820</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>820</td> </tr> </table>			当初予算額	820	補正予算額	0	予算流・充用額	0	最終予算額	820										
当初予算額	820																					
補正予算額	0																					
予算流・充用額	0																					
最終予算額	820																					
財源内訳	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>253</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>567</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>820</td> </tr> </table>			国・県支出金	253	地方債	0	その他	0	一般財源	567	計	820								
国・県支出金	253																					
地方債	0																					
その他	0																					
一般財源	567																					
計	820																					
前年度決算額	820	評価結果	伝統芸能の継承・保護を図る場として現在の形で継続。 学校等と連携し、教育の一環としても保存・伝承に取り組む必要がある。																			

支所004	項目名	万葉集朗唱の会開催費																				
主要な施策	文化振興費	ページ	43	所 属 名																		
年度	H24	国府町総合支所 地域振興課																				
会計名	事業の概要																					
一般会計	【問合せ先】国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555 【9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P307（支所003） 【事業の概要】 国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が国守として赴任し万葉集の最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、平成6年に因幡万葉歴史館を開館、以来「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。 その一環として平成10年度から「万葉集朗唱の会」を開催してきており、県内外から多数の参加者を得て、万葉集への親しみや理解を深める機会として定着している。 【事業の成果】 「万葉のふるさと」鳥取国府町をPRする定着したイベントとなっており、安定した集客力を得ている。参加者全員が万葉衣装を身にまとい自由な方法で朗唱を行う参加型のイベントであることも好評である。 《事業実績》 ・H22年度 1,900千円（参加者約500人） ・H23年度 1,900千円（参加者約500人） ・H24年度 1,900千円（参加者約500人） 【今後の課題・方向性】 国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。 事業アンケートでは好評で継続を望む意見が多数であり、今後も継続していく。																					
款	教育費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	0																					
手数料	0																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	0																					
贈収入	0																					
その他	0																					
項	社会教育費																					
目	文化振興費																					
(単位:千円)		<table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>1,900</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>1,900</td> </tr> </table>			当初予算額	1,900	補正予算額	0	予算流・充用額	0	最終予算額	1,900										
当初予算額	1,900																					
補正予算額	0																					
予算流・充用額	0																					
最終予算額	1,900																					
財源内訳	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>587</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,313</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,900</td> </tr> </table>			国・県支出金	587	地方債	0	その他	0	一般財源	1,313	計	1,900								
国・県支出金	587																					
地方債	0																					
その他	0																					
一般財源	1,313																					
計	1,900																					
前年度決算額	1,900	評価結果	地域住民で組織する実行委員会主催のイベントで、参加者も年齢・性別を問わず、県内外から幅広く、現在の形で継続することは妥当である。また、「万葉フェスティバルin鳥取」として「大伴家持短歌大賞」との同日開催を契機として、さらに万葉集への親しみや理解を深める内容の工夫など、より充実した取り組みが必要である。																			

支所005	項目名	万葉フェスティバル開催事業費	
主要な施策	文化振興費	ページ	43
年度	H24	所 属 名	
		国府町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 国府町総合支所 地域振興課 0857-39-0555		
款 教育費	【9次総の施策体系】 1201		
項 社会教育費	【予算計上の経過】		
目 文化振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P307(支所004)		
当初予算額	3,400	【事業の概要】	
補正予算額	0	国府地域では、万葉集を編さんした大伴家持が万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であることにちなみ、「万葉のふるさと」としてまちづくりをすすめてきた。	
予算流・充用額	0	「大伴家持大賞短歌募集事業」は、因幡万葉歴史館開館の平成6年から始まり、短歌愛好家の間では全国的に周知されるところとなった。	
最終予算額	3,400	平成21年の万葉集終焉から1250年を記念した「全国万葉フェスティバルin鳥取」の開催を契機に、翌年の平成22年からは従来の「大伴家持大賞短歌募集事業」と「全国万葉フェスティバルin鳥取」の一部事業を統合し、さらに因幡の鳥取が重要な万葉故地であること、万葉のふるさと「因幡の鳥取市」を広く情報発信するため「万葉フェスティバルin鳥取」として実施している。	
本年度決算額	3,400	【事業の成果】	
区分	決算額	万葉集終焉の地・因幡の鳥取を全国に情報発信し、万葉文化を愛する全国の皆さまと大伴家持を顕彰し、鳥取市国府町の文化・観光の振興を図ることができた。	
財源内訳		また、地元新聞社に業務委託しており、全国報道ネットワークを活用した多彩なPR活動を展開し、全国から注目を浴びる取り組みを行ってきた。それにより本事業のPRにとどまらず、鳥取市全体の多様な情報の発信にも繋がっている。	
国・県支出金	1,050	【今後の課題・方向性】	
地方債	0	国府地域の活性化策として、より一層の内容充実を図る。	
その他	0	事業アンケートでは好評で継続を望む意見が多数であり、今後も継続していく。	
一般財源	2,350	【事業実績】	
計	3,400	・H22年度 3,400千円	
		・H23年度 3,400千円	
		・H24年度 3,400千円	
		【参考】	
前年度決算額	3,400	本市の主要な文化事業のひとつと位置付けることができる全国的規模の事業である。現在は支所単独で実施しているが、本庁担当課との役割分担、連携により、より充実した取り組みとすることが必要と考える。	

支所006	項目名	ウォークラリー大会実行委員会補助金	
主要な施策	体育大会費	ページ	45
年度	H24	所 属 名	
		教育委員会事務局 国府町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 教育委員会事務局 国府町分室 0857-39-0563		
款 教育費	【9次総の施策体系】 3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】		
目 体育振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P308(支所005)		
当初予算額	316	【事業の概要】	
補正予算額	0	国府地域の豊かな自然と豊富な文化財を利用した「万葉のふるさと国府」を満喫しながら地域の文化資源を体験することができるイベントである。	
予算流・充用額	0	開始以来21年が経過し、国府地域の文化・自然体験型イベントとして定着しており、	
最終予算額	316	小・中学生や家族連れをはじめグループ等の幅広い参加者を得て、地域の観光振興の推進はもとより歴史と文化の町「こくふ」を広くPRしている。	
本年度決算額	316	【事業の成果】	
区分	決算額	【事業内容】	
財源内訳		万葉ウォークラリー大会は、国府の豊かな自然と豊富な文化財を利用したイベント。約6kmのコースを標準時間を目指し、町内の名勝・史跡等のチェックポイントに設置された問題を解きながら歩き、時間得点と課題得点で競う。心とからだの健康づくりをしながら、地域の文化や資源を体験することができるイベントとして定着している。	
国・県支出金	0	■主催：鳥取市国府町万葉ウォークラリー実行委員会	
地方債	0	■時期：平成24年10月6日(土)	
その他	0	■場所：鳥取市国府町(宮下地区周辺)	
一般財源	316	○参加費：無料 ○史跡等チェックポイントを巡るウォークラリー ○鍋の振る舞い等	
計	316	【事業実績】	
		平成22年度 316千円(参加者数33チーム、148人)	
		平成23年度 316千円(参加者数29チーム、119人)	
		平成24年度 316千円(参加者数37チーム、162人)	
		【今後の課題・方向性】	
		恒常的な参加者に加え新たな参加者の掘り起しを図りたい。	
		また、今後新味のある事業展開に併せて実行委員会組織を拡充を図りたい。	
		【参考】	
前年度決算額	316	【市民ニーズの状況】継続要望多数。	
		新味ある事業展開となるよう、実行委員会組織の拡充を検討したい。	
		今後は、同時期に開催される同種事業の統合等による内容の充実、規模拡大等について検討することが必要な時期にある。	

支所007	項目名	らっきょう生産振興大会助成事業		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	福部町総合支所 産業建設課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 福部町総合支所 産業建設課 0857-75-2814			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P308（支所006）			
目 農業振興費	【事業の概要】 らっきょう生産者を中心に関係機関などが、現在抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修することにより継続的な産地の維持発展を図るため、らっきょう生産振興大会を開催している。また、全国のらっきょう産地の安定した発展を図るため、隔年で開催される「全国らっきょうサミット」に参加して情報収集・情報交換を行っている。 ・らっきょう生産振興大会開催に係る経費の一部助成 ・さっきょうサミット参加のための旅費及び参加者負担金			
(単位:千円)	【事業の成果】 生産農家が抱えている課題、問題点等の解決策について協議・研修することにより、産地の維持・発展が期待できる。また、技術向上及び経営意欲の高揚の促進・生産振興・地域の活性化に寄与している。			
当初予算額	371	【今後の課題・方向性】 引き続き事業を実施し、日本一のらっきょう産地の維持発展を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	371	【参考】		
本年度決算額	324	前年度決算額 343		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		全国的な産地として、現在、直面している生産者の高齢化、人夫不足等の課題・問題点の解決、及び今後の維持・発展に向け生産者相互の情報収集を図る上で重要な事業である。		
国・県支出金	0	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	0	使用料 0		
一般財源	324	手数料 0		
計	324	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		雑収入 0		
		その他 0		

支所008	項目名	各種団体負担金(むらづくり運動事業費、むらづくり大会補助金)		
主要な施策	各種団体負担金	ページ	43	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 福部町分室		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815			
款 教育費	【9次総の施策体系】 2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P309（支所007）			
目 社会教育総務費	【事業の概要】 昭和60年国体の機運を継続するため翌年むらづくり推進協議会を発足し、毎年むらづくり運動の重点課題を掲げ地域をあげて活動推進する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 むらづくり運動の重点課題をもとに各集落が活動を推進する。 全集落に助成し、集落の活性を図る。 ①事業の内容 むらづくり運動推進協議会への補助金 ②事業実績 平成20年度：1,006,426円 平成21年度：864,000円 平成22年度：870,000円 平成23年度：945,000円 平成24年度：870,000円			
当初予算額	953	【今後の課題・方向性】 今後も事業を実施し、住民によるむらづくり運動の更なる推進を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	953	【参考】		
本年度決算額	870	前年度決算額 945		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		行政主導ではなく、町民の自主性を主体としたまちづくり運動を更に高め、益々の地域活性化に努める。		
国・県支出金	0	分担金 0		
地方債	0	負担金 0		
その他	0	使用料 0		
一般財源	870	手数料 0		
計	870	財産収入 0		
		寄付金 0		
		繰入金 0		
		雑収入 0		
		その他 0		

支所009	項目名	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	
主要な施策	鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 福部町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 福部町分室 0857-75-2815		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P309(支所008)		
目 体育振興費	【事業の概要】 本大会は、昭和60年国体(銃剣道)が福部村で開催されたことを記念して、翌々年の62年度から鳥取砂丘の観光振興・「鳥取砂丘らっきょう」の特産品振興を全国にPRする目的で企画している。		
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取砂丘の自然とらっきょうの花の咲く中でさわやかな汗をながし、この大会を契機として体力づくりに励み、砂丘の里ふくべの文化、産業、観光等を広く全国に紹介し、だれでも気軽に参加できる健康マラソンを目指す。 また、広くらっきょうの里鳥取市をPRし、市の花をアピールする。		
当初予算額	5,646	事業内容 らっきょうの花が咲く頃にマラソン大会を開催する。	
補正予算額	△703	事業実績 平成19年度実績 4,300千円 参加者1,252人 平成20年度実績 4,121千円 参加者1,265人 平成21年度実績 4,343千円 参加者1,412人 平成22年度実績 4,666千円 参加者1,464人 平成23年度実績 5,073千円 参加者1,163人 平成24年度実績 4,938千円 参加者1,213人	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 今後も、大会内容の充実とともに大会告知に努め、参加者の増加を図る。	
最終予算額	4,943	【参考】	
本年度決算額	4,938	前年度決算額 5,073	
区分	決算額	評価結果 鳥取市を代表する鳥取大砂丘を県内外にPRする絶好の機会であると共に、一つの市民の健康増進の場としても浸透してきている。今後もマンネリ化を避け、充実した内容のある大会運営を行う。	
財源内訳	決算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	2,398		
一般財源	2,540		
計	4,938		

支所010	項目名	河原地域活性化推進事業費	
主要な施策	新市域特別振興費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 河原町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111		
款 総務費	【9次総の施策体系】0102		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P310(支所009)		
目 企画費	【事業の概要】 新市域の活性化を図るため地域振興機能を強化するとともに地域審議会との連携による地域振興策を樹立し、地域住民との協働を基本とした地域振興策を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 防犯意識の高揚により民生児童委員も青パト事業に参加。 ・H20 295千円 ・H21 340千円 ・H22 372千円 ・H23 196千円 ・H24 478千円 1) あいさつ運動 2) 安心安全のほり設置事業 3) 地域パトロール事業(青パト事業) 4) 安心安全踏査事業(いのちのバトン事業) 5) 地域美化推進事業 6) 要援護者支援制度モデル地区事業 7) 水辺環境活用事業 8) 熊よけラジオ交付事業		
当初予算額	478	【今後の課題・方向性】 今後もより一層、内容の充実を図る。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	478		
本年度決算額	478		
区分	決算額		
財源内訳	決算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	478		
計	478		
前年度決算額	196	評価結果 地域住民との協働また、地域住民主体で行う当事業はとても重要な事業であり、安全安心な暮らしの確保等、更なる地域の防犯活動等に資するため事業内容を検証して効果的な事業を拡充するなど改善し、今後も継続して取り組む必要がある。	

支所011	項目名	河原城イベント企画事業費
-------	-----	--------------

主要な施策	観光活動費	ページ	37
-------	-------	-----	----

所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	1,394
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	1,394
-------	-------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

本年度決算額	1,394
--------	-------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	1,394
計	1,394

【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P310（支所010）

【事業の概要】（地域特定予算）  
河原城は平成6年の設立当時から地域の拠点、シンボルとしての事業を展開してきた。また、行政、地域の各種団体と協働でイベントを実施することで、地域の活性化、まちおこしが図られた。  
委託先 風土資産研究会  
開催時期 ・茶会 5月 ・月見会 9月から10月

【事業の成果】  
河原の活性化、まちおこしを目的に、春の茶会は、チャリティー事業として収益を日赤等へ寄付している。  
鳥取自動車道の開通に伴い県外からの集客が図られたこともあり継続して実施する。

(集客)	茶会	月見	
平成20年度	948	500	(悪天候のため人数減少)
平成21年度	1,510	1,100	
平成22年度	1,500	500	(悪天候のため人数減少)
平成23年度	1,624	1,100	
平成24年度	850	550	(悪天候のため人数減少)

【今後の課題・方向性】  
開催内容、時期等を検討し、今後もより一層、内容の充実を図る。

(参考)	
前年度決算額	1,394

評価結果	平成24年度で18回目を向かえ、両イベント共に地域に定着している。また東日本大震災のチャリティーも取り組み、とても価値の高いイベントとなっている。春・秋の行楽シーズン中ということもあり、沢山の来場者があるが、天候に左右されて、雨天時の来場者が少ないなどの悩みもあり、雨天時の集客方法、開催内容などの見直しを行い、地域内外からの更なる集客増加を図る。
------	--

支所012	項目名	フライトフェスティバル事業費
-------	-----	----------------

主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37
-------	-------------	-----	----

所 属 名	河原町総合支所 地域振興課
-------	------------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名	一般会計
款	商工費
項	商工費
目	観光費

(単位:千円)	
当初予算額	400
補正予算額	0
予算流・充用額	0

最終予算額	400
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

本年度決算額	400
--------	-----

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	0
一般財源	400
計	400

【問合せ先】河原町総合支所 地域振興課 0858-76-3111

【9次総の施策体系】5201

【予算計上の経過】  
予算事業別概要目次  
当初予算・P311（支所011）

【事業の概要】  
霊石山と千代川という立地条件を活かしたスカイスポーツの振興は、河原のまちづくりイベントとして定着した。全国に鳥取のかわはらと霊石山フライトエリアを広くPRできた。また、地元の経済効果向上と県外者との交流促進にも繋がった。  
事業主体 八上姫ジャパンレディースカップ実行委員会  
開催時期 9月

【事業の成果】  
平成20年度 528千円 参加者90名  
平成21年度 528千円 参加者73名  
平成22年度 528千円 参加者64名  
平成23年度 37千円 参加者0名(悪天候により中止)  
平成24年度 400千円 参加者69名

【今後の課題・方向性】  
今後もより一層、内容の充実を図る。

(参考)	
前年度決算額	37

評価結果	競技人口の減少に伴い参加者の減少傾向が見られるが、スカイスポーツの有数な拠点である当地域は、平成25年度に関係者主体による環境整備を行う予定であり、今後、このスカイスポーツ・観光拠点の更なる活用と集客の検討を図る必要がある。
------	--

支所013	項目名	あゆ祭補助金	
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 河原町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河原町総合支所 産業建設課 0858-76-3115		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】予算事業別概要目次 当初予算P311(支所012)		
目 観光費	【事業の概要】 河原町は古くから「アユの町」として知られており、あゆの豊漁を願うと同時に、「アユの町」を広くPRするためにあゆ祭を開催するもので、平成25年で35回を迎え、夏の風物詩として定着した。また、地元の経済効果が高まってきた。 (地域振興特定予算)		
(単位:千円)	【事業の成果】 鮎の塩焼き、川下りレース、子ども広場、子ども太鼓、女性太鼓、ステージショー、花火大会など 主 催 あゆ祭企画実行委員会 開催日 平成25年8月第1土曜日(平成25年8月3日)開催 (参考:前年度実施日:平成24年8月4日) (補足:鳥取市観光協会ほか、鳥取市内で開催される夏祭の日程調整が必要)		
当初予算額	4,926	《事業実績》 平成24 補助金 4,926千円 入込客数 22,000人 平成23 補助金 4,962千円 入込客数 22,000人 平成22 補助金 4,962千円 入込客数 21,000人	
修正予算額	0	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の開通以降近隣から車での入込客数が年々増加。 今後も充実した事業展開が求められる。 《市民ニーズの状況》 地域住民には好評で継続を望む意見が多い。	
予算流・充用額	0	【参考】	
最終予算額	4,926	評価結果 8月の第1週土曜日に変更してからは、天候にも恵まれ、また他のイベントとの調整もはかれている。来客に楽しんでいただけるよう、実行委員会が核となり、祭の継承に努め、引き続き継続する。	
本年度決算額	4,926	前年度決算額 4,962	
区分	決算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金 0	分担金	0
	地方債 0	負担金	0
	その他 0	使用料	0
	一般財源 4,926	手数料	0
計	4,926	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

支所014	項目名	町民スポーツの日開催費	
主要な施策	体育大会費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 河原町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 河原町分室 0858-76-3122		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P312(支所013)		
目 体育振興費	【事業の概要】 健康増進及び生涯スポーツの普及拡大を図るとともに、子どもから高齢者までスポーツを楽しむ日として、「町民スポーツの日」を設け、レクリエーションスポーツ大会を実施し、レクスポーツの日常生活への定着化により健康増進を図った。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成21年度 平成21年10月4日 グラウンドゴルフ大会 参加者146人 平成22年度 平成22年6月13日 グラウンドゴルフ大会 参加者145人 平成23年度 平成23年6月5日 グラウンドゴルフ大会 参加者136人 平成24年度 平成24年6月16日 グラウンドゴルフ大会 参加者153人		
当初予算額	247	【今後の課題・方向性】 近年グラウンドゴルフ大会のみの開催となっているので、種目等検討しながら引き続き実施する。	
修正予算額	0	【参考】	
予算流・充用額	0	評価結果 当事業への参加者が年々増えるなど地域住民に浸透してきており、今後も引き続き実施し、幅広い年代層の参加が得られ、更なる参加者の増えるよう呼びかけを行っていきたい。	
最終予算額	247	前年度決算額 137	
本年度決算額	139	区分	
区分	決算額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金 0	分担金	0
	地方債 0	負担金	0
	その他 0	使用料	0
	一般財源 139	手数料	0
計	139	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

支所015	項目名	用瀬地域活性化推進事業費	
主要な施策	新地域特別振興費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬総合支所 地域振興課 0858-87-2111		
款 総務費	【9次総の施策体系】0201		
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P312（支所014）		
目 企画費	【事業の概要】 1 地域振興計画に基づき、市民との協働により地域づくりに取り組み、地域の活性化と地域のバランスの取れた発展を目指す。		
(単位:千円)	【事業の成果】 優れた自然景観等を観光資源として活用するため、市民との協働により以下の事業を実施した。 ・ 甌穴群整備事業 甌穴群周辺の枝打・草刈・遊歩道の整備等を行い景観の保全と活用を図った。 ・ 中津美整備事業 中津美の滝への案内看板の設置等を行い景観の保全と活用を図った。 ・ 三角山遊歩道整備事業 遊歩道の整備（枝打・草刈等）等を行い景観の保全と活用を図った。 ・ 洗足山登山道整備事業 遊歩道の整備（枝打・草刈等）等を行い景観の保全と活用を図った。		
当初予算額	600	【今後の課題・方向性】 環境整備事業を継続して景観を保持するとともに新たな観光資源の発掘と整備を検討する必要がある。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	34		
最終予算額	634	【参考】	
本年度決算額	573	評価結果 本町の豊かな自然環境（観光資源）を活用するための事業であり、事業を継続しそれらを維持するとともに、地域間交流を促進し地域活性化に繋げる取組みへと繋げていきたい。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	573		
計	573		
前年度決算額	562		

支所016	項目名	ジゲおこし事業費	
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 用瀬町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P313（支所015）		
目 観光費	【事業の概要】 1 千代川を利用したイベントである川遊びフェスティバルを実施する。 2 町民のふれあいと憩親を目的にステージイベントを中心にふれあいフェスティバルを行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 1 普段体験する機会のないラフトやカヌーなど、用瀬の特色を活かしたイベントとして川遊びフェスティバルを開催した。参加者数 夏：約80人、春：54人 2 用瀬町運動公園を会場として、町民はもとより町外からの参加もある中ふれあいフェスティバルを開催した。参加者約1500人		
当初予算額	1,074	【今後の課題・方向性】 流しびなの里もちがせの地域活性化を図る事業として継続した取組が必要であるが、川遊びに関しては、参加者数が横ばいであり、千代川の魅力や川遊びの楽しさなどを今まで以上にPRする必要がある。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,074	【参考】	
本年度決算額	1,074	評価結果 ふれあいフェスティバルについて、事業の継続は必要であるが内容の充実を図る必要があると考える。川遊びフェスティバルについては、参加者増を図る必要があり、事業の魅力発信を強力に行うことが必要である。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳	0		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,074		
計	1,074		
前年度決算額	1,074		

支所017	項目名	洗足山周辺観光施設整備事業費		
主要な施策	観光施設整備事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	用瀬町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 用瀬町総合支所 地域振興課 0858-87-2111			
款 商工費	【9次総の施策体系】 5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P313（支所016）			
目 観光費	【事業の概要】 鳥取自動車道の開通に合わせ、魅力ある観光地づくりの一環として自然景観に優れた洗足山を地域の観光資源として活用するための登山道開設事業			
(単位:千円)	【事業の成果】 新たな登山道として、下記ルートでの整備を実施。 赤波おう穴ルート 1,560m			
当初予算額	1,200	【今後の課題・方向性】 整備された洗足山の登山道は、その維持管理を地元団体の協力を得て行っており、魅力ある地域資源として認知度が高まっている。また、地元主催の登山会の開催や、県内外の登山愛好家等の来訪など、この地域へ訪れる方も増えており、地域交流の場や観光資源としての期待も高まっております。 これからの地域の方々と協力して景観を保持するとともに新たな観光資源の発掘と整備を検討する必要がある。		
補正予算額	0	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	1,200	洗足山の登山道を整備したことにより、登山愛好家をはじめとした登山者の来訪や登山会の開催など、多くの地域外の方が用瀬に訪れる新たな魅力となっている。今後、地域交流の場や観光資源として積極的に活用を始め、登山道の維持管理や景観保全について地域の方々と共に引き続き取り組んでいく必要がある。		
本年度決算額	1,177	評価結果		
区分	決算額	洗足山の登山道を整備したことにより、登山愛好家をはじめとした登山者の来訪や登山会の開催など、多くの地域外の方が用瀬に訪れる新たな魅力となっている。今後、地域交流の場や観光資源として積極的に活用を始め、登山道の維持管理や景観保全について地域の方々と共に引き続き取り組んでいく必要がある。		
財源内訳	国・県支出金	0	評価結果	
	地方債	900	洗足山の登山道を整備したことにより、登山愛好家をはじめとした登山者の来訪や登山会の開催など、多くの地域外の方が用瀬に訪れる新たな魅力となっている。今後、地域交流の場や観光資源として積極的に活用を始め、登山道の維持管理や景観保全について地域の方々と共に引き続き取り組んでいく必要がある。	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	277	洗足山の登山道を整備したことにより、登山愛好家をはじめとした登山者の来訪や登山会の開催など、多くの地域外の方が用瀬に訪れる新たな魅力となっている。今後、地域交流の場や観光資源として積極的に活用を始め、登山道の維持管理や景観保全について地域の方々と共に引き続き取り組んでいく必要がある。	
	計	1,177	評価結果	
前年度決算額	3,151	評価結果		

支所018	項目名	町民音楽祭開催費(用瀬町)		
主要な施策	市民音楽祭開催費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	用瀬町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 用瀬町総合支所 地域振興課 08578-87-2111			
款 教育費	【9次総の施策体系】 1201			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P314（支所017）			
目 文化振興費	【事業の概要】 1 3月3日の恒例行事として、町内の音楽団体・園児及び小学生が一同会し童謡を歌い、ふるさと用瀬のよさを再認識する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 1 町内の音楽団体6、保育所3、小学校1団体が参加し、用瀬町流しびなの館ふれあホールで実施した。参加者は約250人			
当初予算額	100	【今後の課題・方向性】 流しびなの里用瀬の恒例の行事となっており、子どもから大人まで幅広い年齢層が集い、楽しく和やかな雰囲気の中で行われており、継続して実施した。 なお、運営の内容を十分に協議する必要がある。		
補正予算額	0	【参考】		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	100	ふるさと用瀬のよさを再認識する行事として定着しており、約250人の町民が一同に会し童謡をうたうものであり、継続して実施したい。		
本年度決算額	100	評価結果		
区分	決算額	ふるさと用瀬のよさを再認識する行事として定着しており、約250人の町民が一同に会し童謡をうたうものであり、継続して実施したい。		
財源内訳	国・県支出金	31	評価結果	
	地方債	0	ふるさと用瀬のよさを再認識する行事として定着しており、約250人の町民が一同に会し童謡をうたうものであり、継続して実施したい。	
	その他	0	評価結果	
	一般財源	69	ふるさと用瀬のよさを再認識する行事として定着しており、約250人の町民が一同に会し童謡をうたうものであり、継続して実施したい。	
	計	100	評価結果	
前年度決算額	100	評価結果		

支所019	項目名	流しびなマラニック大会補助金		
主要な施策	体育大会費	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 用瀬町分室		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 用瀬町分室 0858-87-3787			
款 教育費	【9次総の施策体系】3103			
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P314（支所018）			
目 体育振興費	【事業の概要】 1 自分の体力に合わせて種目が選択できるマラニック大会を開催し、市民相互の健康づくりと親睦、健全なスポーツ活動の振興を図るとともに、「流しびなの里用瀬」を広くPRする。			
(単位:千円)	【事業の成果】 第25回もちがせ流しびなマラニック大会を開催した。 期 日：平成24年5月20日（日） 実参加者：1,409人 実施種目：ラン（10km、5km、3km） ウォーク（5km、3km）			
当初予算額	2,112	【今後の課題・方向性】 閉会式会場は参加者全員を収容することが出来ないため、特に雨の場合の対応に苦慮している。 年々参加申込者が増加しており、ボランティアスタッフの確保も限界が近づいており今後の推移も見ながら申込者数に制限を設けることも検討を要する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,112	【参考】		
本年度決算額	2,112	評価結果		
区分	決算額	健康志向が高まる中、自分の健康に合わせランニングまたはウォークの選択が出来、気軽に参加しやすい大会として好評を得ている。本市の一大イベントとして定着しており、継続して実施したい。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	2,112			
計	2,112			
前年度決算額	2,112			

支所020	項目名	佐治地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費	ページ	24	所 属 名
年度	H24	佐治町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取市佐治町総合支所地域振興課 0858-88-0211			
款 総務費	【9次総の施策体系】2101			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P315（支所019）			
目 企画費	【事業の概要】 中山間地域が元気になる講演会の開催、景観作物カシスの維持管理と、さじ谷健康ウォークコースに案内看板を設置。			
(単位:千円)	【事業の成果】 今後の地域づくりや将来展望を見据えた講演会等を通じ、佐治地域の活性化や協働の推進が図られた。 平成22年度 442千円 平成23年度 500千円 平成24年度 479千円			
当初予算額	495	【今後の課題・方向性】 佐治地域の活性化対策としてより内容の充実を図るとともに、地域住民との協働事業として取り組み、事業効果を確認のうえ、改善を図りながら継続して行う必要がある。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	495	【参考】		
本年度決算額	479	評価結果		
区分	決算額	市町村合併から10年が経過しますが、佐治地域の魅力を発信し、地域の団体の活動活性化を継続させるためにもより内容の拡充が必要です。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	479			
計	479			
前年度決算額	500			

支所021	項目名	ふるさとの味祭り事業費補助金		
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	佐治町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取市佐治町総合支所地域振興課 0858-88-0211			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経緯】 予算事業別概要目次 当初予算・P315（支所020）			
目 農業総務費	【事業の概要】 佐治地域の秋の収穫祭として佐治町総合支所周辺を会場に11月10日、11日の2日間 間で実施。地産の農産物の販売や佐治町の各種団体の催し、多様な芸能アトラクション やレクリエーション的なゲームも実施し、参加者全員で祭りを体感した。 今年は30回の節目であり、前夜祭としてクラシックコンサートも実施。			
(単位:千円)	【事業の成果】 総合的なイベントを通じ、佐治地域の産物や伝統芸能を広くアピールするとともに、地 域の絆を深め、協働のまちづくりを進めることにより、個性あふれ誇りのもてる地域づ くりが図られた。 平成22年度 1,500千円 平成23年度 1,500千円 平成24年度 1,485千円			
当初予算額	1,485	【今後の課題・方向性】 佐治地域の活性化対策として、より内容の充実を図る必要がある。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,485	【参考】		
本年度決算額	1,485	評価結果 佐治地域の豊かな自然や産物、伝統芸能、民芸品等を広くPRし、協働のまちづくりの取り組み内容の拡充が必要です。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0	その他財源の内訳	
	地方債	0	分担金	0
	その他	0	負担金	0
	一般財源	1,485	使用料	0
	計	1,485	手数料	0
			財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収金	0
			その他	0
前年度決算額	1,500			

支所022	項目名	文化振興費(佐治町)		
主要な施策	文化振興費	ページ	43	所 属 名
年度	H24	佐治町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取市佐治町総合支所教育委員会分室 0858-88-0218			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経緯】 予算事業別概要目次 当初予算・P316（支所021）			
目 文化振興費	【事業の概要】 板笠の製作工程の記録とさじ谷話の保存伝承			
(単位:千円)	【事業の成果】 国の「登録有形民俗文化財」に登録された佐治の板笠の製造技術の伝承や、さじ谷話の 保存伝承事業のより一層の充実を図る。 平成22年度 184千円 平成23年度 184千円 平成24年度 182千円			
当初予算額	182	【今後の課題・方向性】 後継者不足のため製造工程の記録をDVD製作し、貴重な文化の啓発を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	182	【参考】		
本年度決算額	182	評価結果 貴重な佐治町の文化民芸の保存・伝承に必要です。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	56	その他財源の内訳	
	地方債	0	分担金	0
	その他	0	負担金	0
	一般財源	126	使用料	0
	計	182	手数料	0
			財産収入	0
			寄付金	0
			繰入金	0
			贈収金	0
			その他	0
前年度決算額	184			

支所023	項目名	さじアストロパーク企画イベント等事業費		
主要な施策	さじアストロパーク運営管理費	ページ	44	所 属 名
年度	H24	佐治町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鳥取市さじアストロパーク 0858-89-1011			
款 教育費	【9次総の施策体系】2102			
項 社会教育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P316（支所022）			
目 さじアストロパーク管理費	【事業の概要】 さじアストロパーク3大祭り（星、月、雪）を行い、アストロパークの独自性を打ち出した プラネタリウム番組を作成し、プログラムの更新を行った。また、日本宇宙少年団鳥取 アストロ分団の活動支援を行った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 佐治地域の基幹施設としてPRが図れた。			
当初予算額	3,070	平成22年度	3,101千円	来場者数 18,867人
補正予算額	0	平成23年度	3,101千円	" 18,757人
予算流・充用額	0	平成24年度	3,070千円	" 20,155人
最終予算額	3,070	【今後の課題・方向性】 ワンパターンのイベントから独自性のあるイベントへのチェンジ、佐治地域の住民との 交流活動等の内容の充実を図る必要がある。		
本年度決算額	3,070	評価結果		
区分	決算額	佐治地域の基幹施設としてPRを図ることが重要であり、より内容の拡充が必要です。		
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 0			
	一般財源 3,070			
	計 3,070			
(参考)	前年度決算額	3,101		

支所024	項目名	気高町総合支所管理費		
主要な施策	庁舎管理費	ページ	23	所 属 名
年度	H24	気高町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011			
款 総務費	【9次総の施策体系】0201			
項 総務管理費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P32（支所001）			
目 財産管理費	【事業の概要】 屋上防水シート張替修繕。			
(単位:千円)	【事業の成果】 屋上防水シート張替によって、雨漏り、漏電等を防止できるようになり、安心して市民 サービスを提供できるようになった。			
当初予算額	9,248	《事業の内容・実績》 経年劣化と強風により第2庁舎屋上の防水シートが大きく破損し、激しい雨漏りが発 生したため防水シート309.00㎡を張り替えた。		
補正予算額	3,150	【今後の課題・方向性】 今後も気高町総合支所庁舎の施設・施設を適切に維持管理し、より良い市民サービスの 提供を行う。		
予算流・充用額	0	評価結果		
最終予算額	12,398	今後も、老朽化する庁舎の維持管理のため必要な改修等を講じる。		
本年度決算額	11,853			
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金 0			
	地方債 0			
	その他 1,613			
	一般財源 10,240			
	計 11,853			
(参考)	前年度決算額	11,980		

支所025	項目名	睦逢大堤うぐい突き補助金	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P317（支所023）		
目 観光費	【事業の概要】 大堤池は農業用水として利用している。毎年春に鯉や鮒を放流し、秋には池の底にたまった泥やごみなどを取り除くとともに、放流した魚を捕獲するため水抜きを行っている。この水抜きにあわせて行う魚獲りが「うぐい突き」と呼ばれる珍しいもので、400年以上前から伝えられている。 事業（実績）：稚魚放流（4月）鯉の稚魚を約200匹の放流（逢坂小学校生徒参加）、イベント開催（10月）約300名の参加		
(単位:千円)	【事業の成果】 うぐい突きをとおして、ため池の歴史や保全の必要性、地域の伝承行事と農業の関わりなどについて、地元住民だけでなく広く市民に関心を持ってもらえるようになりつつある。		
当初予算額	93	【今後の課題・方向性】 地元住民だけでなく、気高地域さらには市内全域のイベントとして盛り上げていくことを狙いとしている。	
修正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	93	【参考】	
本年度決算額	93	評価結果 400年以上前に鹿野城主亀井公が東南アジアから睦逢に伝えた漁法で、伝統漁法として大切に後世に伝承するとともに、地域住民の交流を促進し広く市民の関心を喚起し地域の賑わいを創出する事業として大いに役立っている。今後も継続、実施する必要がある。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	93	
	計	93	
前年度決算額	93		

支所026	項目名	貝がら節の郷づくり協議会補助金	
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37
年度	H24	所 属 名 気高町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-0011		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P317（支所024）		
目 観光費	【事業の概要】 観光客の落ち込みの著しい浜村温泉街の再生を図るため、平成22年度から地域の活性化につなげる事業を実施し、貝がら節のふるさとである気高町を内外にPRしている。平成24年度は、引き続き、地元若手芸術家を中心とするボランティアが京都造形芸術大学と協働で砂像制作を実施した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 気高地域のイベントとして定着してきていて、観光客増にある程度貢献している。		
当初予算額	1,598	【今後の課題・方向性】 まちづくり協議会等とも協力して地域住民の意見を取り入れ、より一層の活動を盛り上げていく。	
修正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,598	【参考】	
本年度決算額	1,571	評価結果 全国的に有名な「貝がら節」をキーワードに、気高地域への観光客の流入を促し交流人口を増やすとともに、産業・文化の振興など地域の活性化を促進するため将来に向けた発展の可能性のある事業である。今後も継続、実施するものとする。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	485	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,086	
	計	1,571	
前年度決算額	252		

支所027	項目名	貝がら節まつり補助金		
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	気高町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 地域振興課 0857-82-3162			
款 商工費	【9次総の施策体系】5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要 当初予算・P318（支所026）			
目 観光費	【事業の概要】 船磯海岸で水中花火の打ち上げ及び芸能ステージの開催、浜村観光道路で太鼓や吹奏楽のミニコンサート及び貝がら節総踊りを実施した。浜村砂丘公園では京都造形芸術大学学生と地元中学生が「砂像」作品を制作し、踊りと併せて貝がら節祭りを盛り上げた。			
(単位:千円)	【事業の成果】 貝がら節祭りは、気高地域の夏を代表するイベントとして定着しているが、従来の観光客を対象としたPR効果に加えて、中高年層や子供等幅広い年齢層参加のする地域住民の交流の場となっている。			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 浜村温泉の旅館等の廃業による観光客の減少、少子化による地域の人口減少など社会的な逆風はあるが、鳥取自動車道の全線開通や鳥取西道路の今後の開通予定など交通環境でのプラス面もあるので、外部へのPRが重要になってくると思われる。		
修正予算額	0			
予算流・充用額	4,232			
最終予算額	4,232	【参考】		
本年度決算額	4,207	評価結果		
区分	決算額	浜村温泉の観光不振の中、地域住民自ら貝がら節まつりを自分たちのイベントとして盛り上げていくという機運を醸成して行くことに大いに寄与している。そこでその支援策として今後、継続、実施するものとする。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	4,207			
計	4,207			
前年度決算額	4,220			

支所028	項目名	ふるさと産業まつり(気多の市)補助金		
主要な施策	地域経済活性化促進事業費	ページ	37	所 属 名
年度	H24	気高町総合支所 産業建設課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】気高町総合支所 産業建設課 0857-82-3154			
款 商工費	【9次総の施策体系】5201			
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P318（支025）			
目 商工業振興費	【事業の概要】 沈滞する浜村温泉街の活性化に向け、地域住民と商店街が一体となって行っている。			
(単位:千円)	【事業の成果】 地域住民の交流と商店街の賑わいを創出し、気高地域の活性化に寄与することを目的にイベントを開催するとともにフリーマーケットや屋台の出店を募り、賑わいの場となっている。			
当初予算額	300	《事業の内容・実績(過去3年)》 平成22年度 参加者3000人 平成23年度 参加者3000人 平成24年度 参加者3500人		
修正予算額	0	【今後の課題・方向性】 地域住民のニーズに応えた運営を行い、参加者の拡大を図る。 《市民ニーズの状況》 定着したイベントのため、継続した事業の開催を求められている。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	300	【参考】		
本年度決算額	300	評価結果		
区分	決算額	地域住民のニーズに応えた運営を行い、参加者の拡大を図る。県内外へ広く気高地域をPRしていくことも取り組んでいく。		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	300			
計	300			
前年度決算額	195			

支所029	項目名	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金		
主要な施策	気高スカロップ杯中学校バレーボール大会補助金	ページ	45	所 属 名
年度	H24	教育委員会事務局 気高町分室		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】教育委員事務局 気高町分室 0857-82-1411 【9次総の施策体系】3103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P319（支所027）			
款 教育費	【事業の概要】 旧気高町杯を継承し、市町村合併後にスカロップ杯と名称変更。 今回の開催で17回を数える。			
項 保健体育費	【事業の成果】 中学生に広くバレーボールの実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマン精神の高揚を図り、心身ともに健康な中学生を育成する。また、県外選手との交流の場を設けることにより、県域を越えた親睦を深める。県内外からの選手役員が気高町に宿泊することによる経済的効果も大きい。			
目 体育振興費	《事業の内容・実績》 中国四国各県から選抜された男女各12チームによるトナメント戦。 平成21年度 平成22年3月27日（土）・28日（日）400名参加。 優勝・男子＝伯太（安来市）、準優勝＝気高（鳥取市） 優勝・女子＝山崎東（宍粟市） 平成22年度 平成23年3月26日（土）・27日（日）400名参加。 優勝・男子＝伯太（安来市）、準優勝＝気高（鳥取市） 優勝・女子＝灘（姫路市） 平成23年度 平成24年3月24日（土）・25日（日）400名参加。 優勝・男子＝気高（鳥取市）、準優勝＝安来第三（安来市） 優勝・女子＝玉湯（松江市）、準優勝＝豊富（姫路市） 平成24年度 平成25年3月30日（土）・31日（日） 優勝・男子＝菊間北郷（今治市）、準優勝＝安来第三（安来市） 優勝・女子＝米子北斗（米子市）、準優勝＝綾歌（丸亀市）			
(単位:千円)	当初予算額	500	【今後の課題・方向性】 平成25年度 平成26年3月22日（土）・23日（日） 会場：鳥取市気高町農業者トレーニングセンター、鳥取市立浜村小学校 《市民ニーズの状況》 バレーボールの町気高町の伝統もあり、町民の関心は高い。	
	補正予算額	0		
	予算流・充用額	0		
最終予算額	500	【評価結果】中学生に広くバレーボール大会の実践の機会を与え、技術の向上とスポーツマン精神の高揚を図り、心身共に健全な中学生の育成を目的とする当大会は、中学生のみならず県内外の選手、役員が気高地域に宿泊すること、更に地域情報が県内外へ発信されるなど経済効果も十分に見込まれるため、今後も継続、実施するものとする。		
本年度決算額	500	【事業の内容・実績】 中国四国各県から選抜された男女各12チームによるトナメント戦。 平成21年度 平成22年3月27日（土）・28日（日）400名参加。 優勝・男子＝伯太（安来市）、準優勝＝気高（鳥取市） 優勝・女子＝山崎東（宍粟市） 平成22年度 平成23年3月26日（土）・27日（日）400名参加。 優勝・男子＝伯太（安来市）、準優勝＝気高（鳥取市） 優勝・女子＝灘（姫路市） 平成23年度 平成24年3月24日（土）・25日（日）400名参加。 優勝・男子＝気高（鳥取市）、準優勝＝安来第三（安来市） 優勝・女子＝玉湯（松江市）、準優勝＝豊富（姫路市） 平成24年度 平成25年3月30日（土）・31日（日） 優勝・男子＝菊間北郷（今治市）、準優勝＝安来第三（安来市） 優勝・女子＝米子北斗（米子市）、準優勝＝綾歌（丸亀市）		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	500		
	計	500		
(参考)	前年度決算額	500		

支所030	項目名	鹿野地域活性化推進事業費		
主要な施策	新市域特別振興費	ページ	24	所 属 名
年度	H24	鹿野町総合支所 地域振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011 【9次総の施策体系】2101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P319（支所028）			
款 総務費	【事業の概要】 合併地域の活性化を図るため、総合支所と地域住民の協働による地域振興策を樹立しようと平成18年度から実施している。鹿野地域の活性化を図ることを目的として策定された「鹿野地域振興プラン」に基づき、「市民と総合支所の協働」を基本とした事業を実施することにより、鹿野地域の振興を図る。			
項 総務管理費	【事業の成果】 地域住民が地域づくりに参画し、地域振興策を実施することにより地域の一体感の醸成と活性化を図る。			
目 企画費	【事業の内容・実績】 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。地域住民の方や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて人がふれあい、安らぎとゆとりを感じることができるまちを目指す。基本的に春は菜の花・レンゲ、秋はコスモスの花畑をつくる。秋には、コスモス畑に回廊や木の遊具を設置し、市民の憩いの場となっており、多くの人が訪れた。			
(単位:千円)	当初予算額	589	H21年度 457千円 H22年度 606千円 H23年度 579千円 H24年度 584千円	
	補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 地域の課題・問題点を踏まえ、より一層地域住民との協働のまちづくりを行っていく。	
	予算流・充用額	0		
最終予算額	589	【評価結果】市民との協働による花畑づくりは、地域の一体感の醸成と活性化につながっていると同時に、鹿野地域のPRIにも貢献している。今後とも「四季薫るまち鹿野」にふさわしい事業の継続を行う。		
本年度決算額	584	【事業の内容・実績】 鹿野地域は「四季薫るまち鹿野」を基本理念として、協働のまちづくりを進めている。地域住民の方や鹿野を訪れた方に四季の花を通じて人がふれあい、安らぎとゆとりを感じることができるまちを目指す。基本的に春は菜の花・レンゲ、秋はコスモスの花畑をつくる。秋には、コスモス畑に回廊や木の遊具を設置し、市民の憩いの場となっており、多くの人が訪れた。		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	584		
	計	584		
(参考)	前年度決算額	579		

支所031	項目名	わったいな祭事業費																			
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37																		
年度	H24	所 属 名 鹿野町総合支所 地域振興課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011 【第9次総の施策体系】2101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P320(支所029) 【事業の概要】 ・期日 平成24年10月27日(土)、28日(日) ・会場 鹿野城下町地区他 街なみ会場、中央公民館会場、河川公園会場 住民団体と行政とがお互いに連携を取り合い、共に汗を流しながらまちの活性化を目指した。具体的には、地元の集落やグループなどが気軽にイベントに参加できる体制をつくり、賑わいを創出するとともに交流人口を増やし、住民の地域づくりの意識向上と経済の活性化を図った。また、地域住民の文化、芸能活動発表の場として、個人、団体を問わず、作品の展示や発表会を開催することで、文化・芸術の振興を図った。 【事業の成果】 開催が13回目となり、3会場それぞれの特徴を踏まえたイベントを実施し、また3会場を結ぶ導線を構築したことにより、来場者の回遊性を確保できた。 ・街なみ会場 伝統的町屋(個人宅、空き家)を開放して展示会場、喫茶休憩所、まちなかギャラリーとして活用した。また、下町通りを歩行者天国にして興レースなど各種イベントを実施し、街なみの賑わいを演出した。 ・中央公民館会場(展示期間は、4日間) 文化芸術活動に励んでいる住民の成果を発表した。 書道や陶芸等の作品展示とコーラスや演舞などのステージ発表を行い、来場者に喜んでもらった。 ・河川公園会場 えもん市では、地元の農家が生産した野菜、特産品や農産加工物の即売市を行い、鹿野地域の特色が現れた。 ・その他 鹿野そば道場のそば祭、自衛隊コーナー、防災、警察車両の展示、建設機械の体験乗車などを行い、親子連れで賑わった。 【今後の課題・方向性】 事業のマンネリ化のなかで、街なみや空き家を活用したイベントを入れ込んで、全体的な盛り上がりを作っていく必要がある。																				
款	商工費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
項	商工費																				
目	観光費																				
(単位:千円)																					
当初予算額	2,818																				
補正予算額	△72																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	2,746																				
本年度決算額	2,741																				
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,741</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,741</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	2,741	計	2,741								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	2,741																				
計	2,741																				
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,741</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,741</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	2,741	計	2,741								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	2,741																				
計	2,741																				
(参考)		<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>鹿野地域の魅力をPRするとともに、たくさんの方に鹿野ファンになっていただくためのイベントの開催は、地域の活性化と住民が元気になるために重要である。引き続き、交流人口を増やすための工夫が必要である。</td> </tr> </table>		評価結果	鹿野地域の魅力をPRするとともに、たくさんの方に鹿野ファンになっていただくためのイベントの開催は、地域の活性化と住民が元気になるために重要である。引き続き、交流人口を増やすための工夫が必要である。																
評価結果	鹿野地域の魅力をPRするとともに、たくさんの方に鹿野ファンになっていただくためのイベントの開催は、地域の活性化と住民が元気になるために重要である。引き続き、交流人口を増やすための工夫が必要である。																				
前年度決算額	2,697																				

支所032	項目名	観光イベント開催補助金(桜まつり花火大会)																			
主要な施策	各種団体補助金負担金	ページ	37																		
年度	H24	所 属 名 鹿野町総合支所 地域振興課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 産業建設課 0857-84-2012 【第9次総の施策体系】2101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P320(支所030) 【事業の概要】 実行委員会を設置して隔年開催の春の「鹿野祭り大祭」や春の桜まつりの観光イベントを開催し、全国に情報発信し観光客の誘致を図っている。 【事業の成果】 鹿野城跡公園を中心として、春の桜まつりに併せて、桜まつり花火大会を行い、鹿野地域の賑わいを作り上げている。春に開催される花火大会は全国的に珍しく、地元だけでなく多くの方に楽しんでいただいている。 【今後の課題・方向性】 2年に1回の開催であるが、鹿野の春のイベントとして定着しつつあるので、今後も継続していく必要がある。																				
款	商工費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
項	商工費																				
目	観光費																				
(単位:千円)																					
当初予算額	910																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	910																				
本年度決算額	910																				
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>910</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>910</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	910	計	910								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	910																				
計	910																				
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>910</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>910</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	910	計	910								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	910																				
計	910																				
(参考)		<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>鹿野祭りの宵祭りに併せた春の花火大会の開催は、城跡公園周辺の賑わいを見せている。今後も交流人口の増加のために継続していく必要がある。</td> </tr> </table>		評価結果	鹿野祭りの宵祭りに併せた春の花火大会の開催は、城跡公園周辺の賑わいを見せている。今後も交流人口の増加のために継続していく必要がある。																
評価結果	鹿野祭りの宵祭りに併せた春の花火大会の開催は、城跡公園周辺の賑わいを見せている。今後も交流人口の増加のために継続していく必要がある。																				
前年度決算額	0																				

支所033	項目名	町民音楽祭開催費(鹿野町)	
主要な施策	市民音楽祭開催費	ページ	43
年度	H24	所 属 名 鹿野町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鹿野町総合支所 地域振興課 0857-84-2011 【第9次総の施策体系】1201 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P321(支所031) 【事業の概要】 鹿野町民音楽祭実行委員会が主体として開催するふるさとミュージカルは、昭和62年にはじまり、多数の住民が参画しながら継続して開催され、地域を代表するイベントとして、またレベルの高い芸術活動として内外から認知されるようになった。 活動着手以来26周年を迎えた今回は、活動のさらなる定着を目指して地域内指導者の育成や市内舞台芸術団体との連携強化に努め、プロとアマチュアが協働して創り上げる鳥取市スタイルの市民ミュージカルとして県内外への情報発信を強化し、さらなる活動の定着を目指している。 *平成24年度事業 【事業名】 第26回ふるさとミュージカル 「踊り見の城」～もう一つの因幡攻防戦～ 【事業期間】 ※上演期日 平成24年10月21日(日) 【事業場所】 鳥取市立鹿野町中央公民館特設会場(上演場所) 【事業主体】 鹿野町民音楽祭実行委員会 【総事業費】 5,499千円 【事業の成果】 平成24年度は、鹿野城主亀井公没後400年にあたり、遺品展示等周辺の関連事業とあいまって、地域の魅力を再発見・発信する好機となった。また、地域の文化芸術振興・魅力ある地域づくり・多世代間交流の促進による住民コミュニティの醸成等が総合的に図られている。 【今後の課題・方向性】 制作期間は約7ヵ月間に及び、この間展開される広い年齢層の市民交流は、今後の良好な市民コミュニティづくりにおいても貢献できることが期待される。		
款	教育費	【事業の内訳】 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
項	社会教育費		
目	文化振興費		
(単位:千円)			
当初予算額	3,200		
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,200		
本年度決算額	3,200		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,200	
	計	3,200	
(参考)	評価結果	様々な年代の市民が運営スタッフとなり、半年以上をかけてミュージカルを制作し上演することは、世代間を超えてのコミュニケーションが図られ、地域の活性化の原点となっており、今後も続けていくことが重要である。	
前年度決算額	3,200		

支所034	項目名	スポーツクラブ鹿の助委託金	
主要な施策	総合型地域スポーツクラブ育成事業費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 鹿野町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局鹿野町分室 0857-84-2131 【9次総の施策体系】3103 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P321(支所032) 【事業の概要】 健康づくりを第一とした総合型地域スポーツクラブ「鹿の助スポーツクラブ」を支援する。 【事業の成果】 水泳教室及び柔道教室を開催した。 【今後の課題・方向性】 鹿野町トレーニングセンター内トレーニング室の利用促進を図る。 高齢者や平素スポーツをしていない人でも気軽に参加できる健康・体力づくりをテーマとしたスポーツ教室の開催を図る。		
款	教育費	【事業の内訳】 分担金 0 負担金 0 使用料 0 手数料 0 財産収入 0 寄付金 0 繰入金 0 贈収入 0 その他 0	
項	保健体育費		
目	体育振興費		
(単位:千円)			
当初予算額	266		
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	266		
本年度決算額	204		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	204	
	計	204	
(参考)	評価結果	生涯スポーツによる健康づくりに取り組む中で、住民のニーズに合ったスポーツ教室やスポーツイベントを開催するにあたって、行政にはないノウハウを持った総合型スポーツクラブに委託することは、大変効果的である。	
前年度決算額	264		

支所035	項目名	日中韓高校生国際シンポジウム開催事業	
主要な施策	国際交流促進費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 青谷町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【9次総の実施体系】5401		
項 総務管理費	【予算計上の経過】		
目 企画費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P322(支所033)		
当初予算額	752	【事業の概要】	
補正予算額	0	青谷地域の国際化推進と、青谷高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成を図るため、9月27日、県立青谷高校で開催。交流都市として友好を深めている中国太倉市から健雄職業技術学院の生徒と、過去16年にわたり交流を続けている韓国居昌郡の居昌中央高等学校から生徒を招致しシンポジウムを開催し、地域住民の参加も呼びかけ友好交流を深めている。今回で16回目となる。	
予算流・充用額	0	本事業は、地域と一体となった交流を進めることにより国際理解意識を高め、国際交流の機会を与えるものであり、シンポジウムの参加を主とし、韓国から訪問団を4日間にわたって受入、周辺地域の視察を行いながら、若者同士の交流も図った。なお、今回は、中国側の事情により中国の訪問団の参加はなかった。シンポジウムでは、日、中、韓の代表者各1名が、サブテーマに沿って意見発表を行い(中国の代表者意見発表は代理による)、パネリストによる質疑応答、会場一体となった意見交換を行った。また、韓国・日本の芸能などのアトラクションを実施、直接外国の若者の意見を聞ける場、ふれあう場を提供した。	
最終予算額	752	【事業の成果】	
本年度決算額	367	青谷高校生をはじめとする青少年の国際理解意識を高め、国際交流の機会を与えることができた。地域住民のシンポジウムへの参加は少なかったが、地域の国際化推進のための一助となっている。また、本事業をとおして中国太倉市、及び韓国居昌中央高等学校とのさらなる友好関係を育むことができた。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】	
財源内訳	0	地域に根付いた事業であり、今後も地域と一体となって交流を進め、鳥取県立青谷高等学校との協働事業として国際交流の場を提供する。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	367		
計	367		
(参考)	評価結果	高校生をはじめとする青少年の国際理解を通じた人材育成だけでなく、青谷地域さらには市全域の国際交流を推進するため、一般市民のより多くのシンポジウムへの理解や関心を深め、関わりを増やす必要がある。	
前年度決算額	438		

支所036	項目名	青谷地域活性化推進事業費	
主要な施策	新市域特別振興費	ページ	24
年度	H24	所 属 名 青谷町総合支所 地域振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011		
款 総務費	【9次総の施策体系】0102		
項 総務管理費	【予算計上の経過】		
目 企画費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P322(支所034)		
当初予算額	853	【事業の概要】	
補正予算額	0	青谷地域は地域資源が豊富であり、青谷の自然、文化などの魅力を次代に残すべく様々な活動に地域住民主体で取り組んでいく必要がある。そのため、個々の住民団体の活動を青谷地域全体の取り組みとするため活動母体となる組織「青谷地域づくり連絡協議会」の事業に対し、市として支援していく。	
予算流・充用額	0	具体的には、「青谷地域づくり連絡協議会」は、和紙・鳴り砂等の地域資源を次代に継承する事業として、因州和紙で作製した灯ろうを日置川岸に設置するとともに、全国有数の鳴り砂の浜である青谷町の海岸を保全する海岸清掃活動「鳴り砂クリーン作戦」、鳴り砂の浜を会場に自然の大切さ・楽しさを体感する「あおや鳴り砂ビーチフェスタ」を行った。また、長尾鼻周辺の魚つき保安林の自然環境保全活動、青谷地域の環境美化活動、JR青谷駅をギャラリーにした観光資源PR活動、国史跡青谷上寺地遺跡について学ぶ講演会などを実施した。	
最終予算額	853	【事業の成果】	
本年度決算額	766	地域住民団体が主体となって相互に協力して地域振興のための活動に取り組み、これらの活動をとおして地域の魅力を地域内外に発信し、参加したり、関心を持ったりする市民が増えつつある。地域の活性化という点では、まだ十分とは言えないところもあるが、市として支援した成果は上がっている。	
区分	決算額	【今後の課題・方向性】	
財源内訳	0	青谷地域の活性化をさらに図るべく、地域づくり活動団体を継続して支援していく。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	766		
計	766		
(参考)	評価結果	青谷地域の活性化のため、市として引き続き事業を実施し、住民による地域づくりの活動を支援していく。	
前年度決算額	722		

支所037	項目名	青谷ようこそまつり事業補助金																			
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37																		
年度	H24	所 属 名 青谷町総合支所 地域振興課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	<p>【問合せ先】青谷町総合支所 地域振興課 0857-85-0011  【9次総の施策体系】5201  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P323（支所035）</p> <p>【事業の概要】  24年度の「青谷ようこそまつり」は、会場を「青谷町農林漁業者トレーニングセンター」と「あおや和紙工房」に設けて開催した。25回目となった今回は、第1回から行っている「ようこそ書道コンクール」、地元の和紙工芸グループによる和紙工芸体験と併せ、3年目となる高校生による「書道パフォーマンス」を一つのショーとして実施し、子どもたちなど参加者の体験も設けた。これらをとおして、地元特産の「因州和紙」の魅力をPRした。  また、地元農産物や加工品など趣向を凝らした各種バザーやステージイベント等を実施。文化芸術面においても地元市民による作品展示や芸能発表など多彩な催しを行った。</p> <p>《開催日時》平成24年10月27日(土) 10:00～16:00  10月28日(日) 9:00～15:00</p> <p>【事業の効果】  伝統的工芸品「因州和紙」をテーマに、青谷上寺地遺跡や、海山の豊かな自然など、青谷に豊富にある地域資源や青谷の魅力を外に発信するとともに、まつりの「ようこそ、ようこそ」にこめられた感謝と思いやりの心を大切に交流の場を創りあげた。</p> <p>【今後の課題・方向性】  四半世紀にわたって行われてきた「ようこそまつり」は、目的・意義や内容、運営について改めて見直す時期に来ている。特に今後、真に地域住民主体が主導して事業を企画・運営し、住民主体の「まつり」として目的を明確にして取り組み、地域の活性化につなげていくことが求められる。</p>																				
款	商工費	<table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,116</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>4,116</td> </tr> </table>		当初予算額	4,116	補正予算額	0	予算流・充用額	0	最終予算額	4,116										
当初予算額	4,116																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	4,116																				
項	商工費																				
目	観光費																				
(単位:千円)		<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
当初予算額	4,116	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,087</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,087</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	4,087	計	4,087								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	4,087																				
計	4,087																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	4,116																				
本年度決算額	4,087	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,087</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,087</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	4,087	計	4,087								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	4,087																				
計	4,087																				
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,087</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,087</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	4,087	計	4,087								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	4,087																				
計	4,087																				
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,087</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,087</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	4,087	計	4,087								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	4,087																				
計	4,087																				
計	4,087	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,087</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,087</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	4,087	計	4,087								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	4,087																				
計	4,087																				
(参考)		<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>本事業は、25回実施されてきたが、地域活性化という点から、目的・運営方法などを十分検討し、改めて地域の特色を盛り込んだ地域住民主体の「まつり」となるよう改善し、実施していく必要があると思われる。</td> </tr> </table>		評価結果	本事業は、25回実施されてきたが、地域活性化という点から、目的・運営方法などを十分検討し、改めて地域の特色を盛り込んだ地域住民主体の「まつり」となるよう改善し、実施していく必要があると思われる。																
評価結果	本事業は、25回実施されてきたが、地域活性化という点から、目的・運営方法などを十分検討し、改めて地域の特色を盛り込んだ地域住民主体の「まつり」となるよう改善し、実施していく必要があると思われる。																				
前年度決算額	4,096																				

支所038	項目名	あおや和紙工房管理事業費(企画展示事業)																			
主要な施策	伝統産業等支援事業費	ページ	37																		
年度	H24	所 属 名 青谷町総合支所 産業建設課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	<p>【問合せ先】青谷町総合支所 産業建設課 0857-85-0015  【9次総の施策体系】5102  【予算計上の経過】  予算事業別概要目次  当初予算・P323（支所036）</p> <p>【事業の概要】  平成14年8月に特産品の因州和紙のPRと町の活性化を目指し開館した「あおや和紙工房」の指定管理者（財）鳥取市文化財団へ企画展の運営を委託。年間を通じ、和紙の魅力と和紙の持つ可能性を示す展示会を開催している。  また、24年度はあおや和紙工房開館10周年を迎え、記念イベントの運営を（財）鳥取市文化財団へ委託し、「工房祭」を開催した。</p> <p>【事業の成果】  和紙をモチーフとした様々な展示会及び10周年記念イベントを開催することにより、和紙の持つ魅力と可能性をPRすることができ和紙産業の振興が図れた。また展示会の開催により鳥取市内外から多くの観光客が青谷地域を訪れ、交流人口の増加を図ることができた。  （実績）平成22年度4月～3月 入館者12,560人（11,277人）  平成23年度4月～3月 入館者12,394人（10,527人）  平成24年度4月～3月 入館者18,236人（16,690人）  ※（ ）は、企画展及び特別展入館者数</p> <p>【今後の課題・方向性】  入館者の増加及び因州和紙のPRを促進し、和紙産業の振興を図っていく。</p>																				
款	商工費	<table border="1"> <tr> <td>当初予算額</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>補正予算額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>予算流・充用額</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>最終予算額</td> <td>4,100</td> </tr> </table>		当初予算額	4,100	補正予算額	0	予算流・充用額	0	最終予算額	4,100										
当初予算額	4,100																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	4,100																				
項	商工費																				
目	商工業振興費																				
(単位:千円)		<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
当初予算額	4,100	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,100</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	4,100	その他	0	一般財源	0	計	4,100								
国・県支出金	0																				
地方債	4,100																				
その他	0																				
一般財源	0																				
計	4,100																				
補正予算額	0																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	4,100																				
本年度決算額	4,100	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,100</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	4,100	その他	0	一般財源	0	計	4,100								
国・県支出金	0																				
地方債	4,100																				
その他	0																				
一般財源	0																				
計	4,100																				
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,100</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	4,100	その他	0	一般財源	0	計	4,100								
国・県支出金	0																				
地方債	4,100																				
その他	0																				
一般財源	0																				
計	4,100																				
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,100</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	4,100	その他	0	一般財源	0	計	4,100								
国・県支出金	0																				
地方債	4,100																				
その他	0																				
一般財源	0																				
計	4,100																				
計	4,100	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>4,100</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,100</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	4,100	その他	0	一般財源	0	計	4,100								
国・県支出金	0																				
地方債	4,100																				
その他	0																				
一般財源	0																				
計	4,100																				
(参考)		<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>効果的な集客方法であり、企画展示会を継続することが望ましい。</td> </tr> </table>		評価結果	効果的な集客方法であり、企画展示会を継続することが望ましい。																
評価結果	効果的な集客方法であり、企画展示会を継続することが望ましい。																				
前年度決算額	3,500																				

支所039	項目名	あおや夏祭り事業	
主要な施策	観光キャンペーン事業費	ページ	37
年度	H24	所 属 名 青谷町総合支所 産業建設課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】青谷町総合支所 産業建設課 0857-85-0015		
款 商工費	【9次総の施策体系】5201		
項 商工費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P324（支所037）		
目 観光費	【事業の概要】 鳥取市西商工会にあおや夏まつり事業に対する補助金を助成。合併以前から町の活性化と商業振興を目的として開催される夏のイベント「あおや夏まつり」は、継続して実施することで多くの地域住民に認知され、親しまれるイベントとなっている。 （開催内容）ステージイベント：地元保育園児・小学生による歌や踊り、歌謡ショー 会 場 イベント：軽食・デザート屋台、ドリンクバザー、金魚すくい		
(単位:千円)	【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。また、ステージイベント開催等により青谷地域外からの入場者もあり、交流人口の増加が図られた。 （入場者数）H22 2,000人 H23 2,000人 H24 2,000人		
当初予算額	633	【今後の課題・方向性】 夏の一大イベントとして継続して実施する。また、内容等を工夫し地域外からの入場者増加に努める。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	633	【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。また、ステージイベント開催等により青谷地域外からの入場者もあり、交流人口の増加が図られた。 （入場者数）H22 2,000人 H23 2,000人 H24 2,000人	
本年度決算額	633	【今後の課題・方向性】 夏の一大イベントとして継続して実施する。また、内容等を工夫し地域外からの入場者増加に努める。	
区分	決算額	【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。また、ステージイベント開催等により青谷地域外からの入場者もあり、交流人口の増加が図られた。 （入場者数）H22 2,000人 H23 2,000人 H24 2,000人	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 夏の一大イベントとして継続して実施する。また、内容等を工夫し地域外からの入場者増加に努める。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	633		
計	633		
(参考)		【事業の成果】 継続して実施され、多くの地域住民に愛され親しまれている。また、ステージイベント開催等により青谷地域外からの入場者もあり、交流人口の増加が図られた。 （入場者数）H22 2,000人 H23 2,000人 H24 2,000人	
前年度決算額	633	【今後の課題・方向性】 夏の一大イベントとして継続して実施する。また、内容等を工夫し地域外からの入場者増加に努める。	
評価結果	観光及び商業振興を図ることを目的としているが、夏の一大イベントとしても定着し多くの地域住民に親しまれている。多様なステージイベントやバザーに多くの来場者が訪れ、商業関係者の志気が存続することにつながっているため現状維持としたい。		

支所040	項目名	池田市・青谷町スポーツ少年団交流親善大会開催費	
主要な施策	体育大会費	ページ	45
年度	H24	所 属 名 教育委員会事務局 青谷町分室	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】教育委員会事務局 青谷町分室 0857-85-0014		
款 教育費	【9次総の施策体系】3103		
項 保健体育費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P324（支所038）		
目 体育振興費	【事業の概要】 平成14年度から青谷町の姉妹都市である大阪府池田市との交流事業の1つに位置づけられており、「青谷町に行きたい」という池田市の子どもの要望に応える形で実施。平成24年度で第11回目を迎えた。平成17年度の市町村合併以降も鳥取市の交流都市として交流を継続、平成21年度からは鳥取市からの参加者を西部地域に拡大して実施し、鳥取市西部地域（青谷・気高・鹿野）と池田市の親善交流軟式野球大会を2日間で4試合行った。		
(単位:千円)	【事業の成果】 軟式野球の大会を実施するにあたり、双方の保護者がアナウンスやスコアボード係を務めるなど、保護者の間でも温かい交流が行われている。池田市からは団員、指導者、保護者が訪れ、市内の宿泊施設に宿泊し、鳥取の自然と味覚を楽しんだ。また、青谷地域内の施設（青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房）の見学や文化体験（紙すき）など鳥取の文化にも触れ、鳥取市をPRする貴重な機会となった。		
当初予算額	54	【今後の課題・方向性】 鳥取市の交流都市として、青谷地域だけでなく西部地域で引き続き継続し、交流促進を図る。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	54	【事業の成果】 軟式野球の大会を実施するにあたり、双方の保護者がアナウンスやスコアボード係を務めるなど、保護者の間でも温かい交流が行われている。池田市からは団員、指導者、保護者が訪れ、市内の宿泊施設に宿泊し、鳥取の自然と味覚を楽しんだ。また、青谷地域内の施設（青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房）の見学や文化体験（紙すき）など鳥取の文化にも触れ、鳥取市をPRする貴重な機会となった。	
本年度決算額	54	【今後の課題・方向性】 鳥取市の交流都市として、青谷地域だけでなく西部地域で引き続き継続し、交流促進を図る。	
区分	決算額	【事業の成果】 軟式野球の大会を実施するにあたり、双方の保護者がアナウンスやスコアボード係を務めるなど、保護者の間でも温かい交流が行われている。池田市からは団員、指導者、保護者が訪れ、市内の宿泊施設に宿泊し、鳥取の自然と味覚を楽しんだ。また、青谷地域内の施設（青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房）の見学や文化体験（紙すき）など鳥取の文化にも触れ、鳥取市をPRする貴重な機会となった。	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 鳥取市の交流都市として、青谷地域だけでなく西部地域で引き続き継続し、交流促進を図る。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	54		
計	54		
(参考)		【事業の成果】 軟式野球の大会を実施するにあたり、双方の保護者がアナウンスやスコアボード係を務めるなど、保護者の間でも温かい交流が行われている。池田市からは団員、指導者、保護者が訪れ、市内の宿泊施設に宿泊し、鳥取の自然と味覚を楽しんだ。また、青谷地域内の施設（青谷上寺地遺跡展示館、あおや和紙工房）の見学や文化体験（紙すき）など鳥取の文化にも触れ、鳥取市をPRする貴重な機会となった。	
前年度決算額	54	【今後の課題・方向性】 鳥取市の交流都市として、青谷地域だけでなく西部地域で引き続き継続し、交流促進を図る。	
評価結果	少年軟式野球を通じての交流として事業が定着しており、鳥取市をPRする絶好の機会と捉え、今後も継続実施する。		